



2026年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年12月12日

上場会社名 株式会社 光・彩 上場取引所 東・名
コード番号 7878 URL <https://www.kohsai-qq.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 深沢 栄二
問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理部部長（氏名） 今井 一貴（TEL）0551-28-4181
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年1月期第3四半期の業績（2025年2月1日～2025年10月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第3四半期	3,052	1.6	123	△13.6	117	△16.7	72	△17.7
2025年1月期第3四半期	3,005	15.9	142	123.8	141	98.7	88	63.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年1月期第3四半期	48.61		—					
2025年1月期第3四半期	59.05		—					

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年1月期第3四半期	3,189		1,496		46.9	
2025年1月期	3,005		1,455		48.4	

（参考）自己資本 2026年1月期第3四半期 1,496百万円 2025年1月期 1,455百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年1月期	—	0.00	—		
2026年1月期（予想）				25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年1月期の業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	1.8	155	3.7	150	2.1	95	7.5	63.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期3Q	1,584,000株	2025年1月期	1,584,000株
② 期末自己株式数	2026年1月期3Q	87,596株	2025年1月期	87,596株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年1月期3Q	1,496,404株	2025年1月期3Q	1,496,404株

当社は、2024年9月24日開催の取締役会決議に基づき、2024年11月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しを背景に、全体として緩やかな回復基調を維持しました。一方で、米国の通商政策や地政学的リスクの影響による海外経済の不透明感および物価上昇の継続が個人消費の回復を抑制する要因となるなど、景気の先行きには依然として注意を要する状況が続きました。

当社が属するジュエリー業界においては、原材料およびエネルギー価格の高止まりが継続する中、消費者の購買意欲にも慎重さがみられ、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社は経営目的である「ジュエリー創りを通じてより良き世界を創る」の実現に向け、独自技術を活かした高付加価値商品の開発を推進し、女性の活躍を支援する機能性商品やアレルギーに配慮した製品など、社会的ニーズに応える商品の開発に加え、製品の超軽量化や機能性の向上にも注力してまいりました。また、資産価値の高い製品のラインアップ拡充や供給体制の強化を進め、幅広い取引ニーズに対応してまいりました。さらに、営業面においても、販売チャネルの拡充や営業人員の育成を進め、顧客接点の拡大に取り組んでおります。

海外売上におきましては、米国の通商政策に伴う市場の不透明感の影響を受けたものの、現地展示会などの機会を通じてプロモーションを強化し、ブランド認知度の向上に努めており、将来的な販売拡大の基盤構築を進めております。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,052百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は123百万円（同13.6%減）、経常利益は117百万円（同16.7%減）、四半期純利益は72百万円（同17.7%減）となりました。原材料コストや販促費の上昇が利益を圧迫した一方で、コスト最適化や販売価格の見直しなど収益性改善施策の効果により、一定の利益水準を確保いたしました。

今後につきましては、引き続き外部環境の変化に柔軟に対応しつつ、収益構造の強化を両立させる経営を推進してまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ183百万円増の3,189百万円となりました。主な変動は、現金及び預金の減少258百万円、売上債権の増加119百万円、棚卸資産の増加279百万円、有形固定資産の増加51百万円等によるものです。

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比べ142百万円増の1,692百万円となりました。主な変動は、仕入債務の増加37百万円、賞与引当金の増加14百万円、短期借入金の増加75百万円等によるものです。

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べ40百万円増の1,496百万円となりました。主な変動は、四半期純利益72百万円の計上による増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月14日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	685,476	427,467
受取手形及び売掛金	425,956	545,683
棚卸資産	1,179,822	1,459,301
その他	33,403	24,996
流動資産合計	2,324,658	2,457,448
固定資産		
有形固定資産	415,665	467,077
無形固定資産	20,460	17,698
投資その他の資産		
投資有価証券	71,842	80,726
投資不動産	26,094	26,094
繰延税金資産	8,898	916
その他	138,233	139,258
投資その他の資産合計	245,068	246,995
固定資産合計	681,193	731,772
資産合計	3,005,852	3,189,220
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,709	279,147
短期借入金	1,065,000	1,140,000
未払法人税等	24,421	26,995
賞与引当金	—	14,103
その他	135,904	131,241
流動負債合計	1,467,036	1,591,488
固定負債		
役員退職慰労引当金	38,583	40,233
退職給付引当金	37,452	38,741
資産除去債務	3,097	3,121
その他	4,267	19,286
固定負債合計	83,400	101,382
負債合計	1,550,436	1,692,870
純資産の部		
株主資本		
資本金	602,150	602,150
資本剰余金	509,290	509,290
利益剰余金	356,417	391,748
自己株式	△31,880	△31,880
株主資本合計	1,435,977	1,471,307
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,439	25,042
評価・換算差額等合計	19,439	25,042
純資産合計	1,455,416	1,496,350
負債純資産合計	3,005,852	3,189,220

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
売上高	3,005,467	3,052,442
売上原価	2,440,817	2,471,393
売上総利益	564,650	581,048
販売費及び一般管理費	422,028	457,794
営業利益	142,621	123,254
営業外収益		
受取利息	0	5
受取配当金	695	612
受取地代家賃	1,370	1,395
為替差益	797	288
助成金収入	2,546	1,795
雑収入	579	2,683
営業外収益合計	5,988	6,780
営業外費用		
支払利息	5,392	9,916
不動産賃貸原価	75	75
その他	1,861	2,388
営業外費用合計	7,329	12,380
経常利益	141,280	117,654
特別利益		
固定資産売却益	—	964
特別利益合計	—	964
特別損失		
固定資産除却損	140	352
投資有価証券評価損	9,942	—
特別損失合計	10,082	352
税引前四半期純利益	131,198	118,266
法人税等	42,831	45,525
四半期純利益	88,366	72,740

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(法人税等の税率の変更による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(令和7年法律第13号)が2025年3月31日に国会で成立したことに伴い、2026年4月1日以後に開始する事業年度より、「防衛特別法人税」の課税が行われることになりました。

これに伴い、2027年2月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異に係る繰延税金資産及び繰延税金負債については、法定実効税率を30.10%から31.00%に変更し計算しております。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

当社は、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	43,237千円	47,842千円